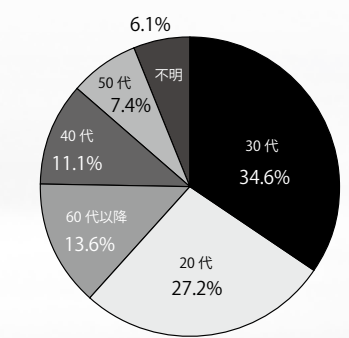
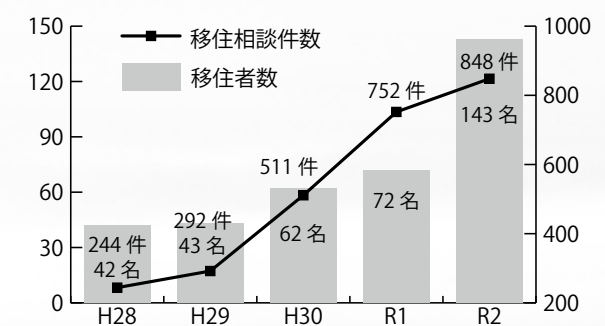


移住相談件数は増加傾向

(一社)ふるさと山形移住・定住推進センター(通称:くらすべ山形、以下「センター」)によると、令和2年度にセンターの相談窓口を通じて移住した相談者は、81組143人と、前年度の43組72人と比較してほぼ倍増となりました。また、相談件数は前年度と比較して12.8%の増加となっています。

相談者からは「テレワークで子どもと接する時間が増えたことで、仕事と私生活の在り方を考えるようになった」「新型コロナウイルス感染症の影響で移住を検討するようになった」との声もあり、地方回帰や田舎暮らしへの関心が高まっていることがわかります。



▲移住者と相談件数の推移 出典 (一社)ふるさと山形移住・定住推進センター総会資料
▲移住者(相談者)の年齢

詳しくは
移住定住支援
サイトまで▶



庄内町の支援

令和3年度庄内町若者 UIJ ターン支援補助金

新型コロナウイルス感染症の影響によって地方回帰の機運が高まっている中、庄内町への移住者に経済的支援を行い移住人口の増大を目指します。また、移住者を雇用した町内事業所等に補助金を交付することで、企業の人材確保と移住者の就業支援の両立を図ります。

1. 移住支援補助金 …移住者一人当たり 100万円

- 【対象】・申請時に46歳未満である
- ・移住の日前後3か月以内に県内企業等に正規雇用労働者として就職し、かつ3か月以上当該企業などに継続勤務する
※県内企業など…県内に本店または主たる事業所もしくは事業所を有する法人その他の団体をいう
 - ・同目的の国または県が行う補助事業を受けていない
 - ・申請日から5年以上本町に居住する意思を持っている

移住者
向け



2. テレワーク移住補助金 …単身世帯 30万円 / 2人以上世帯 50万円

- 【対象】・申請時に46歳未満である
- ・移住の日の前日から連続して6か月以上県外で就労し、移住後もテレワークにより就労を継続する(※フリーランスは対象外)
 - ・申請日から2年以上本町に居住する意思を持っている

テレワーカー
向け



3. 移住者雇用促進補助金 …新規雇用者一人当たり 60万円

- 【対象】・庄内町商工会に加入している
- ・移住支援補助金の申請者(移住者)を正規雇用労働者として3か月以上雇用している
※正規雇用とは…期間の定めのない雇用であり、一週間の所定労働時間が20時間以上である雇用状態をいいます。また、雇用保険、健康保険、厚生年金保健の適用が必要です。

事業所
向け



県の支援1

食の支援事業

転入前に庄内町などの相談窓口を利用した県外からの移住世帯に対して、米、みそ、しょう油を1年分提供します。(2人以上世帯・米60kg、みそ3kg、しょう油3ℓ / 単身世帯・米40kg、みそ2kg、しょう油2ℓ)

県の支援2

家賃補助事業

県外から移住した方が賃貸住宅に入居した場合などに、その家賃の一部(上限1万円/月)を最大24か月補助します。移住者向けと、地域おこし協力隊を退任された方向けの2種類があります。

県の支援3

移住支援金事業

山形県では、東京一極集中の是正および県の担い手不足対策のため、東京圏から山形県へ移住し就業した方の経済的負担を軽減する「移住支援金(最大100万円)」を支給しています。

上記支援事業についての詳細や、その他移住定住に係る情報が掲載されています
山形県移住交流ポータルサイト やまがた暮らし情報館



職場は“そこそこ”近くの街まで、
買い物は“そこそこ”近くの店に、
だけど大自然はいつも“すぐそこ”です。

移住者インタビュー Uターン

表町
小林遊馬さん (31)

プロフィール／高校卒業後、東京の調理師学校へ進学。その後、東京の懐石料理屋に勤める。進学してから11年間東京にいた。2年前29歳の時に庄内町へ帰ってきた。



— Uターンしようと思ったきっかけは？

東京での生活に飽きた(笑)、ということもありますが、自分は長男なので実家を継がなければという気持ちがありました。それに、父方の祖父が食堂を経営していて、毎年お店を続けるかどうかわからない状態だったので少し気になっていました。そこで、せっかくならなにか活用したい、自分が学んできたことを地元で生かしたいと思い、改装してお店を開こうと思いました。

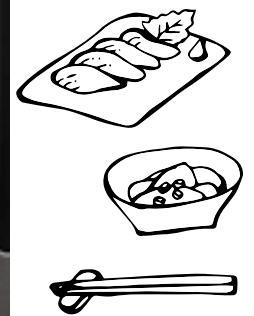
— お店を始めるにあたって不安だったこと・苦労したことは？

自分の性格上、不安要素は多くしたい方なのでしっかりと準備してきました。だから、不安なことはあまりなかったかな(笑)

強いて言えば、11年も東京にいたので、戻ってきたら知り合いがほぼゼロになっていくことですかね。そのため、資金調達や調理器具の手配、業者探しは少し大変でした。

— 移住や開業にあたって、活用した支援制度はありますか？

はい、開店のために県の支援制度と町の「起業家応援補助金」を使いました。事業計画書などの作成に苦労しましたが、こうした補助金があることはありがたいなと思いました。



▲祖父母のお店「小林食堂」を居酒屋としてリニューアル

※起業家応援補助金・商工会の指導を受けながら町内で新たに起業する方に借入利息、または改装費を支援するものです。補助金の詳細は、商工観光課商工労働係へお尋ねください。

— 庄内町にUターンしてよかったことを教えてください！

よかったことはとにかくラク！地元だからですかね。時間の流れがゆっくりなので生活しやすいです。それに、地元へ帰ってきたので両親など助けてくれる人が近くにいます。のはよかったです。

— 庄内町に移住を考えている人にメッセージをお願いします。


こっちに帰ってきた人は、ぜひ一度お店に来てほしいです！私としゃべりましょう。



移住者インタビュー Uターン

仲町
齋藤志織さん (29)

プロフィール／仙台で働いていたが、アート活動をきっかけに地元・尾花沢市の地域おこし協力隊となる。その後結婚出産のため庄内地方に移住。現在、庄内町の移住コーディネーターとして働く。



— 庄内町に移住しようと思ったきっかけは？

夫の実家が酒田市の新堀にあるので、なるべく近いところの子供がのびのび暮らせて日常生活がしやすいような場所を探していたところ、今の場所にとどり着きました。

— 移住コーディネーターに応募した理由は？

前職の地域おこし協力隊時代に、移住に関する情報発信などを行っていましたので、そのスキルを活かせるのではないかと考えたのが理由のひとつ

— 具体的な活動内容を教えてください！

移住定住の相談に関する相談対応と情報発信を担当しています。先日、今年度の「移住定住支援総合ガイド」を作成しました。「ちょうどいい田舎暮らし」をテーマに、庄内町の魅力や支援制度をわかりやすくまとめました。

移住定住の相談に関する相談対応と情報発信を担当しています。先日、今年度の「移住定住支援総合ガイド」を作成しました。「ちょうどいい田舎暮らし」をテーマに、庄内町の魅力や支援制度をわかりやすくまとめました。

— これから頑張りたいことは？

庄内町は、新しいことにチャレンジしようとする若い人たちのサポートが充実していると思います。最近では、新型コロナウイルスの影響で移住を考えている人への支援事業（令和3年度庄内町若者Uターン支援補助金）も始まりましたので、そういった支援制度を多くの人に知っていただけるよう、PRに力を入れていきたいです。

— 庄内町に移住を考えている人にメッセージをお願いします。

「移住・定住」と聞くと、難しく感じてしまう方も多いと思いますが、ネット環境が充実し交通の便が良くなった今は、以前よりも考え方が柔らかくなってきたように感じます。まちの暮らしも程よく楽しめるような「ちょうどいい田舎暮らし」がしたい方には、庄内町はとてもオススメです。無料で利用できる移住体験住居もありますので、まずは一度、気軽に遊びに来てみてください！

移住定住に関する窓口のご紹介

移住者交流会のご案内

日時 8月21日(土) 10:00～11:30
場所 あまるめゲストハウス MOKKE HOUSE
対象 町内に移住して5年以内の移住者

庄内町の暮らしについて、楽しくトークしてみませんか？(参加費無料)
※お申し込みは右記に8/13(金)まで

移住定住のご相談、お気軽にどうぞ！

役場A棟3階にある企画情報課移住定住係では、移住に関するご相談や体験移住のご相談をいつでも受け付けています。移住定住サイトでは「オンライン移住相談」も行っています。

TEL 0234-42-0228
FAX 0234-42-0893
移住定住支援サイト▶